（第二種）（郵政物便認可）昭和十四年十二月二十六日（火曜日）　臺灣日日新報　第一万四千二百九十九號　A（六）

臺灣日日新報

本日四頁
編輯兼發行人　佐々木一郎
社會式株式會社　臺灣日日新報社
所在地　臺北市日吉町一丁目一番地
電話　編輯局（二）〇五一番　營業局（二）〇五一番
廣告料　特別一行十五字　壹圓五拾錢　普通一行十五字　壹圓　同追加一行　同五拾錢
定價　本一部六錢二ヶ月前金壹圓五拾錢　六ヶ月前金三圓　一ヶ年前金六圓
郵送料　一部二錢　月額五拾錢　一ヶ年前金六圓

粤漢鐵路に沿つて各部隊行動を開始

要衝〇〇遂に陷落

【〇〇前線にて二十五日發同盟】冬季攻勢を呼號しつつ粤漢線南部殘敵に備へ、同線北方山岳地帶に蟠據中の敵第四戰區に對しわが精銳部隊は、攻略の手を緩めず、攻撃を續行中であるが、敵は多數の死體を遺棄して、退却を續けつつあり、わが軍は敵の左翼方面を衝いて粤漢線沿線要衝〇〇の攻略に邁進した、〇〇北方の粤漢線方面の敵は、總崩れとなつて、〇〇北方の線に退出した、〇〇北方粤漢線方面の敵は、總崩れとなつて、〇〇北方の線に退出した、

【〇〇前線にて二十五日發同盟特電】粤漢線の守備に任じてゐたわが精銳部隊は、十二日朝來、〇〇の敵陣地なる〇〇を攻撃、これが攻略を開始した、敵は

甘藷の優良種普及

臺南州下の作付增加

【台南特電】台南州下の甘藷は既に大部分の播付を了へ目下成育良好であるが、昨年の霜害に懲み本年は昨年の五万七千俵に比し約一割減少の見込みである。尚昨年の霜害地は殆んど全部増植されたが、これは昨年の如く甘藷の供出に困れば如何ともする事は出來ない、尚州當局では此の點に鑑み上記の如く増植を奬勵する方針である。

激流

（55）

久生十蘭 作

伊勢良夫 畫

花蓮港の白米小賣價格

花蓮港廳では今回廳下における白米販賣小賣價格を左の如く決定、二十五日より實施した、尚七分搗、八分搗米は右記の價格より一錢乃至二錢の引下げを行ひそれ以上の精搗を以て販賣する業者に對しては適宜報奬に從つて助成することとなつた（一斗につき）

選米	壹圓
普通米	九拾錢
粳米	八拾錢

糖業組合陣容

理事長は藤山氏

專務理事は土井氏

【東京特電】南方開發糖業組合創立總會は二十二日精糖會社會議室に開かれ左記通り決定

役員として左井儀助（明治製糖）藤山雷太（日本精糖）藤山愛一郎（台灣製糖）土井泰太郎（明治製糖）藤山愛一郎（台灣製糖）の五氏を理事に選任、專務理事に土井氏が就任と決定した

臺灣軌道總會

一分增一割配當

台灣軌道株式會社は廿三日午後一時より鐵道俱樂部樓上に於て第四十一回定時株主總會を開催、取締役及監査役改選の件は全部重任と決定、次の利益處分の件を原案通り可決、監査役より新舊決算報告書に對し質問あつたが、何れも滿足なる答辯を得て散會した（一分增の一割配當）を可決、監査役より新舊決算報告書に對し質問あつたが、何れも滿足なる答辯を得て散會した（一分增の一割配當）

朝

【七・〇〇】朝の擧式（東京）

【七・二〇】朝の擧式（東京）あるべきやうに…新原井氷水

【七・四〇】朝の體操（ラジオ體操）

【八・〇〇】ニュース

【八・一〇】朝樂（イギリス音樂）（解說）（九・四五）（講座）：石本哲夫

【九・四五】婦人講座（婦人と子供）（講）（第北）家の住居（八）家の設備（門）：建築技師 吉田信太郎

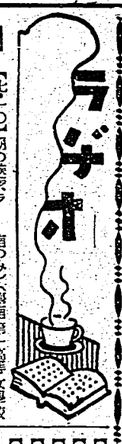
【一〇・一五】婦人講座（續）

【一〇・三〇】ニュース（東京）

【一〇・四〇】ラヂオ體操

【一一・〇〇】ニュース

【一一・一〇】講談（講北）：（第北）：（第北）：お正月の言葉遣ひ（二）



【一一・三〇】ニュース

【一一・四〇】ラヂオ體操

【一二・〇〇】ニュース

【一二・一〇】講談（講北）：日新公六年）：邸氏平話

【一二・四〇】子供の時間（大阪）今年最明發見された…（講北）

【一三・一〇】子供の時間（東京）

【一三・一五】時報（東京）日本發達の國際的見地に於ける…（講北）

【一三・四〇】夕方の音樂（レコード）合唱（民謠からに親しまれる歌曲（ライマン指揮）ほか（ベートーベン作曲（ヘ長調第…）伯林國立歌劇場合唱團

【一四・一五】カレント・トピックス（東京）

【一四・三〇】子供の時間（講北）：（講北）：（講北）：

抗日の狂態振り

婦女子達の股に抗日の刺青を

無軌道極まる支那の國

【〇〇二十五日發同盟】敗殘に喘ぐ敵軍は抗戰の限りを盡してゐるが同じく敗殘兵の暴虐振りは今次の戰線からその一、二を拾つて見る

その一　增城附近は皇軍進駐に依り住民は安居樂業に就いてゐるが數多の敗殘兵に吉林を感めた馬賊は元增城縣長に抗日救國獻金を強要せる十六歳から四十二歳までの女子を集め道路を守断し橋梁を燒却して田園に土を盛り上げる等一年もかかつて我が進擊を阻止しようとしたが皇軍は一日足らずで修理進擊を續けてゐる、抗日救國隊とは名のみで抗日の救なんど更らになく實體は殘り掠奪隊で良民殺戮の的となつてゐる

その二　增城から廣州にかけては各地から戰線を離脱したもので編成してゐるが、腐敗を極め軍紀は全く地に墜ち婦女子は勿論、老人迄も暴行を加へてゐる、抗日救國隊の名の下に良民を虐殺し財物を掠奪するなんど言語に絶する暴虐振りを示してゐるが、殊に今度の正月は敗殘兵の最後の抵抗を試みるものと見られ、各地共に嚴重な警戒網を布いてゐる

南支で温泉を發見

戰塵洗ふ勇士らは滿足

【〇〇二十五日發同盟】南支の皇軍占領地域に初めて溫泉が發見された、その溫泉は上田部隊の出田健一等兵が永康城（增城東北十二里）東方一粁を偵察してゐると田圃の中に濛濛と白い川が流れてゐる不思議に思つて近づいて見ると玉子が三つ川に入れてある、溫泉だ

南支で始めて見る溫泉だ、そつと手を入れようとすると熱くて入れられない、玉子は部落民が茹玉子を造りかけて逃げたものだらう、附近を見ると數個所から溫泉が湧いてゐる他の組の部隊からも小さなのが出てゐるその溫泉に浸つて初めての溫泉の味は又格別だ、馬に乘つて遙々きつて來る事十數粁、其の疲れ、關りには二十六日午前八時パンコックに向け出發の樂しみ等は本年七月頃には日本時刻午後四時二十分廣東着、一旦少憩の後午後一時佛印ハノイに向つた

ハノイに安着

大和號ハノイへ

冷風の臺北空港を出發

【〇〇二十五日發同盟】訪佛親善使節一行二十五日午前十時五十八分無事ハノイに安着した、一行は直ちに自動車にて宿舍に向つた

【〇〇二十五日發同盟】訪佛親善使節一行を乘せた大和號は二十五日午前八時パンコックに向け出發の筈

在伊の邦人に宛て

お正月品を土産に

訪伊使節の笹川氏の談

馬耳其港外の錨泊中の東京市長のメッセージを託されてゐる笹川氏からは非常喜ばれるお土産にと配給用タバコの注文があつた、又ボルゴ・ヴェネツィア伊太利の報告ではアッシストの各々を大歡迎すべく準備を整へてゐるとの事で樂みにしてゐる、又天羽氏には私の朝食を摂つた、一行は少憩の後一路ハノイに向けて出發

笹川民間使節は昨日午前十時半頃ハノイ着、一旦少憩の後午後一時佛印ハノイに向つた

ハノイに安着

【ハノイ二十五日發同盟】訪佛親善使節一行は二十五日午前八時ハノイに安着した、二十六日午前八時パンコックに向け出發の筈

反蔣和平の英雄

黃大偉將軍は意氣軒昂

【〇〇にて謝特派員發】汪兆銘氏の第一次訪日使節として十一月、その間約一週間、反共實行の言は熱烈の如くに支那全土を風靡し、なほ國民の間には反共抗日の氣分濃厚にて或る地方では反共抗日を口にしないと生活出來ないといつた有樣である

建國軍の良き盟友

菊水會の幹部と語る

【〇〇にて謝特派員發】日華親善の實を擧げつゝある廣東方面に於ては日華事變勃發以來日夜奮闘を續けてゐる皇軍將兵の勞を犒ふ爲め菊水會幹部一行は十二月二十日廣東に到着、廣東方面に於ける皇軍將兵の慰問を行つた

森中尉壯烈な戰死

拔刀して敵陣へ斬込み

【〇〇二十四日發同盟】前武漢會戰當時第〇〇師團第〇〇聯隊第〇中隊の一人勇士として活躍中の森中尉は十月廿日夜〇〇の敵陣へ斬込み壯烈な戰死を遂げた

砂金調査班歸北

答申書は廿六日總督に提出

砂金（粗大粒と五錢白銅の比較）②タツキリとトロツクによる淘金作業③試掘坑前の木村正技師④試掘坑前の小笠原技師⑤トロツク設置附近の全景⑥調水溪上流に淘金作業

タツキリとトロツクの採金畫譜

砂金（粗大粒と五錢白銅の比較）②タツキリとトロツクによる淘金作業③試掘坑前の木村正技師④試掘坑前の小笠原技師⑤トロツク設置附近の全景⑥調水溪上流に淘金作業

大正天皇御例祭

宮中で嚴かな御儀

【東京二十五日發同盟】大正天皇御例祭の二十五日宮中では皇靈殿において天皇陛下御親祭の下に嚴かに御儀を行はせられた、この日天皇陛下には午前十時皇靈殿御祭

温泉鄕北投も正月は自肅調で

ドンチャン騒ぎを禁止

錦和部隊出動、或は市内警察署の強制實施等で自肅、自戒とは云ひながらも大変な好況振りを示してゐるが、殊に今度の正月は敗殘的な自戒お正月とあつてどうせ市内にこもつても仕方がないと考へたものか、或は家族連れでゆつくり心身を落着けてと考へたものか、各會社、銀行團體其他の倶樂部は恒例りとなり一般業者にも殆んど悉皆締切の申込が殺到してゐる模様である、この溫泉鄕を下に持つ七星郡當局では溫泉は溫泉としても娯樂機關として自肅調でなくてはならぬとあつて十一月頃から早くも到來を待ちかまへてゐたが、藝妓料理屋業者の自發的申合せもあつて正月は北投の藝者、酌婦を問はず

東臺灣方面の戰米

臺灣神社の社前へ

東臺灣各地並に官關方面の在住軍人官吏の發起により鳳林神宮に奉獻される戰米は大里に於て基隆關合分會の手にリレーされ基隆關合分會では同關合分會長下の奉獻祭

米を加へて二十五日林關合分會長以下基隆七十名の代表が基隆驛々頭に於て奉迎、直ちに自動車にて市内を練り歩き、午後三時台北關合分會に到着、社前で待ちかまへてゐた台北支部長關戸大佐に引渡を了、午後四時より臺灣神社に奉獻された

南支で温泉を發見

戰塵洗ふ勇士らは滿足

【〇〇二十五日發同盟】南支の皇軍占領地域に初めて溫泉が發見された、その溫泉は上田部隊の出田健一等兵が永康城（增城東北十二里）東方一粁を偵察してゐると田圃の中に濛濛と白い川が流れてゐる不思議に思つて近づいて見ると玉子が三つ川に入れてある、溫泉だ

南支で始めて見る溫泉だ、そつと手を入れようとすると熱くて入れられない、玉子は部落民が茹玉子を造りかけて逃げたものだらう、附近を見ると數個所から溫泉が湧いてゐる他の組の部隊からも小さなのが出てゐるその溫泉に浸つて初めての溫泉の味は又格別だ、馬に乘つて遙々きつて來る事十數粁、其の疲れ、關りには二十六日午前八時パンコックに向け出發の筈

温泉鄕北投も正月は自肅調で

ドンチャン騒ぎを禁止

錦和部隊出動、或は市内警察署の強制實施等で自肅、自戒とは云ひながらも大変な好況振りを示してゐるが、殊に今度の正月は敗殘的な自戒お正月とあつてどうせ市内にこもつても仕方がないと考へたものか、或は家族連れでゆつくり心身を落着けてと考へたものか、各會社、銀行團體其他の倶樂部は恒例りとなり一般業者にも殆んど悉皆締切の申込が殺到してゐる模様である、この溫泉鄕を下に持つ七星郡當局では溫泉は溫泉としても娯樂機關として自肅調でなくてはならぬとあつて十一月頃から早くも到來を待ちかまへてゐたが、藝妓料理屋業者の自發的申合せもあつて正月は北投の藝者、酌婦を問はず

砂金調査班歸北

答申書は廿六日總督に提出

砂金調査班は二十五日午前十時半頃基隆着の汽車で歸北した、一行は山に向ひ午後より調査申請を作成して調査申請書を作成した、一行は山に向ひ午後より調査申請を作成して調査申請書を作成した、一行は山に向ひ午後より調査申請を作成して調査申請書を作成した

殊勳甲の捕物

工業生徒が盜難を發見、廿五日午後二時半台北市公會堂前を台北工業學校生徒數名が通行中、一人の生徒が「泥棒！」と叫ぶや否や、通行人の一人が泥棒を捕へ、附近の交番に連行しようとしたところ、泥棒は之を振り切つて逃走しようとしたが

嘉義郡道路網

重要道路約二百粁の舗装成り

山地開發道路も完成

【嘉義電話】嘉義一を誇つて居る嘉義郡下の道路網は今回更に二百九十六粁餘の舗下舗装道路が新たに加はり、大体的十二粁餘の山地開發道路工事を完成した舗装道路は昭和十四年度に於ける嘉義郡の重要土木事業の一つとして去る二十四日午前十時より嘉義市公會堂に於て川村大助市尹、郡守、各街庄長、郡下中佐、東石郡守、警察部長、各署長、各街庄長外州、市議員等多數を參集して開催された舗装竣工式に於ては先づ川村郡守より式辭、次で高橋警察部長より祝辭、田中農務課長より事業經過報告があり次で川村知事より祝辭中塩庄頭六街庄四六會の代表者甲斐を夫々授與、中松會長式辭、川村知事祝辭、次で午前十時半式を終了、それより川村知事以下なる來賓一同は中松都守の案内で自動車を連ねて中塩庄より内埔庄、竹崎庄を經由して小梅庄に至り此處より徒歩にて山地開發道路を視察して小梅庄に於ける休憩所に於て午餐を共にし午後一時半同所を出發して歸路に就いたが今回舗装された道路は次の通りである

△嘉義郡道路舗装竣工式

一、嘉義市より竹崎庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

二、嘉義市より中埔庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

三、嘉義市より大林庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

四、嘉義市より水上庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

五、嘉義市より民雄庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

六、嘉義市より溪口庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

七、嘉義市より番路庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

八、嘉義市より梅山庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

九、嘉義市より中埔庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

十、嘉義市より竹崎庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

十一、嘉義市より内埔庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

十二、嘉義市より大林庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

十三、嘉義市より水上庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

十四、嘉義市より民雄庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

十五、嘉義市より溪口庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

十六、嘉義市より番路庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

十七、嘉義市より梅山庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

十八、嘉義市より中埔庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

十九、嘉義市より竹崎庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

二十、嘉義市より内埔庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

二十一、嘉義市より大林庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

二十二、嘉義市より水上庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

二十三、嘉義市より民雄庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

二十四、嘉義市より溪口庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

二十五、嘉義市より番路庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

二十六、嘉義市より梅山庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

二十七、嘉義市より中埔庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

二十八、嘉義市より竹崎庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

二十九、嘉義市より内埔庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

三十、嘉義市より大林庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

三十一、嘉義市より水上庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

三十二、嘉義市より民雄庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

三十三、嘉義市より溪口庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

三十四、嘉義市より番路庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

三十五、嘉義市より梅山庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

三十六、嘉義市より中埔庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

三十七、嘉義市より竹崎庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

三十八、嘉義市より内埔庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

三十九、嘉義市より大林庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

四十、嘉義市より水上庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

四十一、嘉義市より民雄庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

四十二、嘉義市より溪口庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

四十三、嘉義市より番路庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

四十四、嘉義市より梅山庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

四十五、嘉義市より中埔庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

四十六、嘉義市より竹崎庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

四十七、嘉義市より内埔庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

四十八、嘉義市より大林庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

四十九、嘉義市より水上庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

五十、嘉義市より民雄庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

五十一、嘉義市より溪口庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

五十二、嘉義市より番路庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

五十三、嘉義市より梅山庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

五十四、嘉義市より中埔庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

五十五、嘉義市より竹崎庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

五十六、嘉義市より内埔庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

五十七、嘉義市より大林庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

五十八、嘉義市より水上庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

五十九、嘉義市より民雄庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

六十、嘉義市より溪口庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

六十一、嘉義市より番路庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

六十二、嘉義市より梅山庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

六十三、嘉義市より中埔庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

六十四、嘉義市より竹崎庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

六十五、嘉義市より内埔庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

六十六、嘉義市より大林庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

六十七、嘉義市より水上庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

六十八、嘉義市より民雄庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

六十九、嘉義市より溪口庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

七十、嘉義市より番路庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

七十一、嘉義市より梅山庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

七十二、嘉義市より中埔庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

七十三、嘉義市より竹崎庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

七十四、嘉義市より内埔庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

七十五、嘉義市より大林庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

七十六、嘉義市より水上庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

七十七、嘉義市より民雄庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

七十八、嘉義市より溪口庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

七十九、嘉義市より番路庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

八十、嘉義市より梅山庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

八十一、嘉義市より中埔庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

八十二、嘉義市より竹崎庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

八十三、嘉義市より内埔庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

八十四、嘉義市より大林庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

八十五、嘉義市より水上庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

八十六、嘉義市より民雄庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

八十七、嘉義市より溪口庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

八十八、嘉義市より番路庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

八十九、嘉義市より梅山庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

九十、嘉義市より中埔庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

九十一、嘉義市より竹崎庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

九十二、嘉義市より内埔庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

九十三、嘉義市より大林庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

九十四、嘉義市より水上庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

九十五、嘉義市より民雄庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

九十六、嘉義市より溪口庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

九十七、嘉義市より番路庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

九十八、嘉義市より梅山庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

九十九、嘉義市より中埔庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

百、嘉義市より竹崎庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

百一、嘉義市より内埔庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

百二、嘉義市より大林庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

百三、嘉義市より水上庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

百四、嘉義市より民雄庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

百五、嘉義市より溪口庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

百六、嘉義市より番路庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

百七、嘉義市より梅山庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

百八、嘉義市より中埔庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

百九、嘉義市より竹崎庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

百十、嘉義市より内埔庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

百十一、嘉義市より大林庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

百十二、嘉義市より水上庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

百十三、嘉義市より民雄庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

百十四、嘉義市より溪口庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

百十五、嘉義市より番路庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

百十六、嘉義市より梅山庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

百十七、嘉義市より中埔庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

百十八、嘉義市より竹崎庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

百十九、嘉義市より内埔庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

百二十、嘉義市より大林庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

百二十一、嘉義市より水上庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

百二十二、嘉義市より民雄庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

百二十三、嘉義市より溪口庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

百二十四、嘉義市より番路庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

百二十五、嘉義市より梅山庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

百二十六、嘉義市より中埔庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

百二十七、嘉義市より竹崎庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

百二十八、嘉義市より内埔庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

百二十九、嘉義市より大林庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

百三十、嘉義市より水上庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

百三十一、嘉義市より民雄庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

百三十二、嘉義市より溪口庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

百三十三、嘉義市より番路庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

百三十四、嘉義市より梅山庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

百三十五、嘉義市より中埔庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

百三十六、嘉義市より竹崎庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

百三十七、嘉義市より内埔庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

百三十八、嘉義市より大林庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

百三十九、嘉義市より水上庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

百四十、嘉義市より民雄庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

百四十一、嘉義市より溪口庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

百四十二、嘉義市より番路庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

百四十三、嘉義市より梅山庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

百四十四、嘉義市より中埔庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

百四十五、嘉義市より竹崎庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

百四十六、嘉義市より内埔庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

百四十七、嘉義市より大林庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

百四十八、嘉義市より水上庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

百四十九、嘉義市より民雄庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

百五十、嘉義市より溪口庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

百五十一、嘉義市より番路庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

百五十二、嘉義市より梅山庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

百五十三、嘉義市より中埔庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

百五十四、嘉義市より竹崎庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

百五十五、嘉義市より内埔庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

百五十六、嘉義市より大林庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

百五十七、嘉義市より水上庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

百五十八、嘉義市より民雄庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

百五十九、嘉義市より溪口庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

百六十、嘉義市より番路庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

百六十一、嘉義市より梅山庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

百六十二、嘉義市より中埔庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

百六十三、嘉義市より竹崎庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

百六十四、嘉義市より内埔庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

百六十五、嘉義市より大林庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

百六十六、嘉義市より水上庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

百六十七、嘉義市より民雄庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

百六十八、嘉義市より溪口庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

百六十九、嘉義市より番路庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

百七十、嘉義市より梅山庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

百七十一、嘉義市より中埔庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

百七十二、嘉義市より竹崎庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

百七十三、嘉義市より内埔庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

百七十四、嘉義市より大林庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

百七十五、嘉義市より水上庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

百七十六、嘉義市より民雄庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

百七十七、嘉義市より溪口庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

百七十八、嘉義市より番路庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

百七十九、嘉義市より梅山庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

百八十、嘉義市より中埔庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

百八十一、嘉義市より竹崎庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

百八十二、嘉義市より内埔庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

百八十三、嘉義市より大林庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

百八十四、嘉義市より水上庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

百八十五、嘉義市より民雄庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

百八十六、嘉義市より溪口庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

百八十七、嘉義市より番路庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

百八十八、嘉義市より梅山庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

百八十九、嘉義市より中埔庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

百九十、嘉義市より竹崎庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

百九十一、嘉義市より内埔庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

百九十二、嘉義市より大林庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

百九十三、嘉義市より水上庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

百九十四、嘉義市より民雄庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

百九十五、嘉義市より溪口庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

百九十六、嘉義市より番路庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

百九十七、嘉義市より梅山庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

百九十八、嘉義市より中埔庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

百九十九、嘉義市より竹崎庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

二百、嘉義市より内埔庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

二百一、嘉義市より大林庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

二百二、嘉義市より水上庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

二百三、嘉義市より民雄庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

二百四、嘉義市より溪口庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

二百五、嘉義市より番路庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

二百六、嘉義市より梅山庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

二百七、嘉義市より中埔庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

二百八、嘉義市より竹崎庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

二百九、嘉義市より内埔庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

二百十、嘉義市より大林庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

二百十一、嘉義市より水上庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

二百十二、嘉義市より民雄庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

二百十三、嘉義市より溪口庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

二百十四、嘉義市より番路庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

二百十五、嘉義市より梅山庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

二百十六、嘉義市より中埔庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

二百十七、嘉義市より竹崎庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

二百十八、嘉義市より内埔庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

二百十九、嘉義市より大林庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

二百二十、嘉義市より水上庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

二百二十一、嘉義市より民雄庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

二百二十二、嘉義市より溪口庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

二百二十三、嘉義市より番路庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

二百二十四、嘉義市より梅山庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

二百二十五、嘉義市より中埔庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

二百二十六、嘉義市より竹崎庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

二百二十七、嘉義市より内埔庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

二百二十八、嘉義市より大林庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

二百二十九、嘉義市より水上庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

二百三十、嘉義市より民雄庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

二百三十一、嘉義市より溪口庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

二百三十二、嘉義市より番路庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

二百三十三、嘉義市より梅山庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

二百三十四、嘉義市より中埔庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

二百三十五、嘉義市より竹崎庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

二百三十六、嘉義市より内埔庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

二百三十七、嘉義市より大林庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

二百三十八、嘉義市より水上庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

二百三十九、嘉義市より民雄庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

二百四十、嘉義市より溪口庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

二百四十一、嘉義市より番路庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

二百四十二、嘉義市より梅山庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

二百四十三、嘉義市より中埔庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

二百四十四、嘉義市より竹崎庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

二百四十五、嘉義市より内埔庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

二百四十六、嘉義市より大林庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

二百四十七、嘉義市より水上庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

二百四十八、嘉義市より民雄庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

二百四十九、嘉義市より溪口庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

二百五十、嘉義市より番路庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

二百五十一、嘉義市より梅山庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

二百五十二、嘉義市より中埔庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

二百五十三、嘉義市より竹崎庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

二百五十四、嘉義市より内埔庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

二百五十五、嘉義市より大林庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

二百五十六、嘉義市より水上庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

二百五十七、嘉義市より民雄庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

二百五十八、嘉義市より溪口庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

二百五十九、嘉義市より番路庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

二百六十、嘉義市より梅山庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

二百六十一、嘉義市より中埔庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

二百六十二、嘉義市より竹崎庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

二百六十三、嘉義市より内埔庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

二百六十四、嘉義市より大林庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

二百六十五、嘉義市より水上庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

二百六十六、嘉義市より民雄庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

二百六十七、嘉義市より溪口庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

二百六十八、嘉義市より番路庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

二百六十九、嘉義市より梅山庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

二百七十、嘉義市より中埔庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

二百七十一、嘉義市より竹崎庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

二百七十二、嘉義市より内埔庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

二百七十三、嘉義市より大林庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

二百七十四、嘉義市より水上庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

二百七十五、嘉義市より民雄庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

二百七十六、嘉義市より溪口庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

二百七十七、嘉義市より番路庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

二百七十八、嘉義市より梅山庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

二百七十九、嘉義市より中埔庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

二百八十、嘉義市より竹崎庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

二百八十一、嘉義市より内埔庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

二百八十二、嘉義市より大林庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

二百八十三、嘉義市より水上庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

二百八十四、嘉義市より民雄庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

二百八十五、嘉義市より溪口庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

二百八十六、嘉義市より番路庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

二百八十七、嘉義市より梅山庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

二百八十八、嘉義市より中埔庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

二百八十九、嘉義市より竹崎庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

二百九十、嘉義市より内埔庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

二百九十一、嘉義市より大林庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

二百九十二、嘉義市より水上庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

二百九十三、嘉義市より民雄庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

二百九十四、嘉義市より溪口庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

二百九十五、嘉義市より番路庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

二百九十六、嘉義市より梅山庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

二百九十七、嘉義市より中埔庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

二百九十八、嘉義市より竹崎庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

二百九十九、嘉義市より内埔庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

三百、嘉義市より大林庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

三百一、嘉義市より水上庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

三百二、嘉義市より民雄庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

三百三、嘉義市より溪口庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

三百四、嘉義市より番路庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

三百五、嘉義市より梅山庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

三百六、嘉義市より中埔庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

三百七、嘉義市より竹崎庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

三百八、嘉義市より内埔庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

三百九、嘉義市より大林庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

三百十、嘉義市より水上庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

三百十一、嘉義市より民雄庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

三百十二、嘉義市より溪口庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

三百十三、嘉義市より番路庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

三百十四、嘉義市より梅山庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

三百十五、嘉義市より中埔庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

三百十六、嘉義市より竹崎庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

三百十七、嘉義市より内埔庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

三百十八、嘉義市より大林庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

三百十九、嘉義市より水上庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

三百二十、嘉義市より民雄庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

三百二十一、嘉義市より溪口庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

三百二十二、嘉義市より番路庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

三百二十三、嘉義市より梅山庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

三百二十四、嘉義市より中埔庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

三百二十五、嘉義市より竹崎庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

三百二十六、嘉義市より内埔庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

三百二十七、嘉義市より大林庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

三百二十八、嘉義市より水上庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

三百二十九、嘉義市より民雄庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

三百三十、嘉義市より溪口庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

三百三十一、嘉義市より番路庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

三百三十二、嘉義市より梅山庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

三百三十三、嘉義市より中埔庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

三百三十四、嘉義市より竹崎庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

三百三十五、嘉義市より内埔庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

三百三十六、嘉義市より大林庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

三百三十七、嘉義市より水上庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

三百三十八、嘉義市より民雄庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

三百三十九、嘉義市より溪口庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

三百四十、嘉義市より番路庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

三百四十一、嘉義市より梅山庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

三百四十二、嘉義市より中埔庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

三百四十三、嘉義市より竹崎庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

三百四十四、嘉義市より内埔庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

三百四十五、嘉義市より大林庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

三百四十六、嘉義市より水上庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

三百四十七、嘉義市より民雄庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

三百四十八、嘉義市より溪口庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

三百四十九、嘉義市より番路庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

三百五十、嘉義市より梅山庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

三百五十一、嘉義市より中埔庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

三百五十二、嘉義市より竹崎庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

三百五十三、嘉義市より内埔庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

三百五十四、嘉義市より大林庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

三百五十五、嘉義市より水上庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

三百五十六、嘉義市より民雄庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

三百五十七、嘉義市より溪口庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

三百五十八、嘉義市より番路庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

三百五十九、嘉義市より梅山庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

三百六十、嘉義市より中埔庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

三百六十一、嘉義市より竹崎庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

三百六十二、嘉義市より内埔庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

三百六十三、嘉義市より大林庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

三百六十四、嘉義市より水上庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

三百六十五、嘉義市より民雄庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

三百六十六、嘉義市より溪口庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

三百六十七、嘉義市より番路庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

三百六十八、嘉義市より梅山庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

三百六十九、嘉義市より中埔庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

三百七十、嘉義市より竹崎庄に至る道路　延長一萬一千二百十間　幅員二十尺

三百七十一、嘉義市より内埔庄に至る道路　延長一萬一千二百